

あおぞら

行方市 社協だより

No.34 2014.9.1

— 発行者 —
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲403番地
☎ 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545
URL <http://www.yokattanet.jp>



ボランティアグループひだまりによる給食サービス事業

P 12

善意銀行・編集後記

P 11

お知らせ

P 10

社協のさーびす◎

P 8-9

福祉な声

P 7

トピックス

P 6

赤い羽根共同募金

P 5

いきいき長寿者紹介

P 2-4

平成25年度事業報告
平成25年度決算報告

目次

平成25年度事業報告

～安心して暮らせる福祉のまちづくり～を目指して
主に次のような事業を実施いたしました

会員数

- ・一般会員 82,655世帯
- ・賛助会員 2,244世帯
- ・特別会員 1,355事業所

善意銀行運営事業

- ・市民の皆様の温かい善意の寄付金や物品をお預かりしています。寄付された金品は寄付者の意思に添った福祉事業等に使用させていただきます。

広報啓発活動

- ・社協だより「あおぞら」を発行しました。(6、9、12、3月)

相談事業

- ・弁護士による無料法律相談を実施しました。(毎月2回 相談件数82件)

高齢者福祉事業

●高齢者サロン事業

- ・高齢者が生涯健康で生きがいを持って社会活動できるよう健康・生きがい作りに関する事業及びリーダーの育成並びにひきこもり防止や交流 事業を実施しま

した。(2ヶ所 計21回 延べ245名参加)

●ふれあい広場事業

- ・健康体操やレクリエーションをとおし、高齢者の健康作りを目的として実施しました。(6ヶ所 計60回 延べ958名参加)

●いきいきゼミナール事業

- ・高齢者を対象に理学療法士や行方市シルバリーハビリ体操指導士会による指導で、いつまでも健やかに、いきいきと自分らしく毎日を過ごせるよう介護予防体操教室を実施しました。(2ヶ所 計45回 延べ489名参加)

●元気でくさくさびす館

- ・高齢者のひきこもり予防及び健康作りを通じた交流を目的として実施しました。(2ヶ所 計35回 延べ308名参加)

障害児(者)福祉活動事業

●ピククリ・発見・夏キャンプ

- ・協同生活を体験し、社会で暮らしていくための知識等を学ぶことを目的に実施しました。(参加者142名 協力 アール医療福祉専門学校)

●のびのびサポート事業

- ・長期休暇中の障害児のストレス軽減をはかるとともに、地域での生活の充実と交流を推進し、心身の発達と生活の豊かさを醸成することを目的として実施しました。(10回 延べ89名参加)

児童福祉事業

●子育てサポート事業

- ・子育てサポーター(子育てを支援する方)と利用者(子育て支援を必要とする方)の相互援助活動を実施しました。(保育サービス提供時間626時間)
- ・子育てサポーター養成講座(9名受講)

母子・父子福祉事業

- ひとり親家庭新入学児童祝い品贈呈事業(8件)
- ひとり親家庭ふれあい遠足(10世帯参加)

ボランティア活動推進事業

●ボランティアセンター事業

- ・ボランティア活動を希望される方と必要としている方の調整等を行いました。(団体登録40団体 750名 個人登録128名 依頼件数32件 派遣延べ人数261名)

- 手話教室の開催(3ヶ所 計96回)

●児童・生徒へのボランティア普及活動

- ・高齢者や障害者への正しい理解促進のために学校等での各種福祉体験学習を実施しました。(計16回実施)

●運営委員会の開催

- ・各種ボランティア団体等への補助金の審査を行いました。

生活福祉資金貸付事業

- (茨城県社会福祉協議会より事務委託)

- 低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図る目的で実施しました。(相談件数29件)

福祉団体への支援

- ・老人クラブ連合会、ボランティア連絡協議会、身体障害者福祉協議会、遺族会等の事務局運営支援を行いました。

在宅福祉サービス・在宅生活支援事業

●福祉機器貸出事業

- ・疾病やケガ、障害者及び高齢者の方などで一時的に車いす等の福祉機器が必要となった方に貸出を行いました。(99件)

●福祉車両貸出事業

- ・障害者や高齢者及びその家族やボランティアの方に車いすごと乗り



子育てサポーター養成講座



小学校での福祉体験



ねんりんスポーツ大会（ペタンク）



介護予防教室（ふれあい広場）

降りできる福祉車両の貸出を行いました。（134件）

- 訪問歯科治療機器貸出事業
 - ・歯科医への訪問治療機器の貸出を行いました。（3件）
- 在宅福祉サービスセンター事業
 - ・高齢者や障害者（児）に対しボランティアの協力を得て、日常生活における援助等を実施しました。（利用件数 計3815件 利用時間 延べ5455時間）
- 在宅言語等リハビリアドバイス事業
 - ・病気やけがにより言葉によるコミュニケーション能力の低下した方に対して、能力回復を目的として言語聴覚士による訪問指導を実施しました。（18回 延べ72名）

●軽度生活援助事業

- ・在宅のひとり暮らし高齢者に対し、軽易な日常生活上の援助を実施しました。（利用者数 延べ74名 利用回数 計299回）
- 給食サービス事業
 - ・在宅の高齢者等で食事作りが困難な方に、栄養のバランスを考えた食事をご自宅にお届けするともに、声かけや安否の確認をしました。（麻生地区 延べ1906食 協力 麻生地区給食ボランティア 北浦地区 延べ1533食 協力 ボランティアグループさわやか 北浦地区食生活改善推進員 玉造地区配食型 延べ1965食 協力 玉造地区給食ボランティア 玉造地区会食型 計3回 協力 よもぎ会 ひだまり）

- 日常生活自立支援事業
 - ・自分ひとりで金銭の管理や支払い等が困難な方に対して、福祉サービスの利用援助、代行、利用料の支払いなどを実施しました。（相談件数18件 利用者数7名）
- 介護保険事業
 - 居宅介護支援事業
 - ・指定居宅介護支援事業所の運営を行い、介護支援専門員（ケアマネージャー）によるケアプランの作成・利用者のサービス提供相談・訪問助言指導・介護保険認定調査を実施しました。（プラン作成数 介護2056件 予防384件 介護保険認定調査156件）

- 訪問介護事業
 - ・指定訪問介護事業所の運営を行い、ホームヘルパーの派遣、サービス内容の相談を実施しました。（利用者数 延べ1485名 派遣時間 延べ16767時間）
- 障害福祉サービス事業
 - 居宅介護サービス事業
 - ・指定訪問介護事業所（総合支援法）の運営を行い、障害者（身体・知的・精神）への身体介護、生活支援サービスを実施しました。（利用者数延べ471名 派遣時間 延べ4768時間）
 - 障害者移動支援事業
 - ・屋外での移動が困難な障害者等に対し、ホームヘルパーを派遣して

外出のための移動を支援しました。(利用者数 延べ12名 派遣時間 延べ14時間)

● 計画相談支援事業
 障害福祉サービス等の利用計画を作成し、その方にあったサービスの提供を支援しました。(利用者数 31名)

● 障害者地域活動支援センター事業
 ● 就労継続支援B型事業
 障害のある方に対し、働く場所と創作活動の機会を提供し、知識・能力向上のための支援を実施しました。

● こころのサロン
 精神疾患がある方を対象に、レクレーション等を通じて社会復帰の支援を実施しました。

● 在宅福祉相談
 医療機関及び福祉施設等を退院・退所後の在宅生活の相談支援を行いました。

● 共同募金事業
 ● 赤い羽根共同募金運動
 10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施され、行方市でも戸別募金・学校等募金・イベ

ント募金・設置募金・職域募金・街頭募金を実施しました。(募金総額459,572.0円)

● 歳末たすけあい運動
 市内全域において、高齢者世帯・障害者世帯の方々を対象に、シルバー人材センター等の皆様の協力を得て家事援助サービスを実施しました。(掃除3件 除草等35件 障子張り70件 窓掃除42件 廃棄処分19件)

新公共交通システム事業

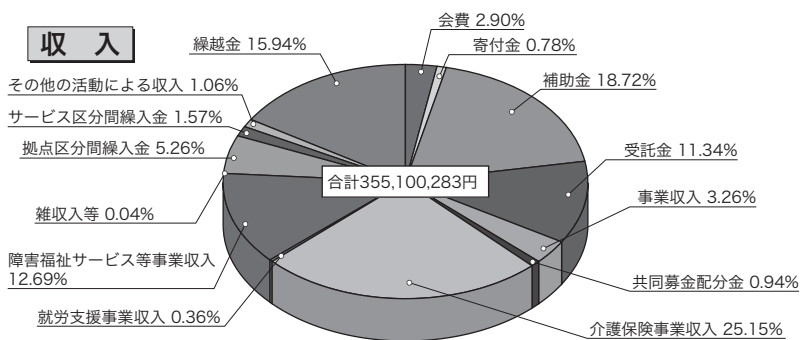
利用者の予約により目的地まで乗合で送迎するタクシー(テマンド型乗合タクシー)の運行を実施しました。(利用者登録数3573名 利用者数 延べ18577名)



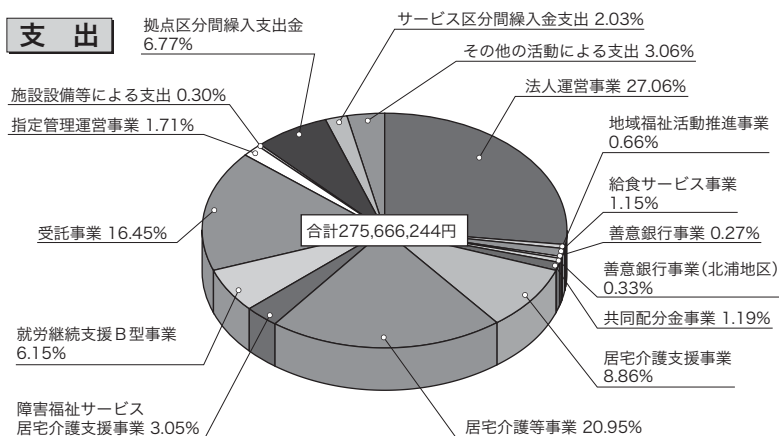
共同募金運動

平成25年度決算報告

収入



支出



| (単位:円) | |
|----------------|-------------|
| 会費 | 10,307,000 |
| 寄付金 | 2,753,970 |
| 補助金 | 66,459,789 |
| 受託金 | 40,269,100 |
| 事業収入 | 11,562,205 |
| 共同募金配分金 | 3,343,313 |
| 介護保険事業収入 | 89,304,065 |
| 就労支援事業収入 | 1,289,651 |
| 障害福祉サービス等事業収入 | 45,057,867 |
| 雑収入等 | 152,123 |
| 拠点区分間繰入金 | 18,671,742 |
| サービス区分間繰入金 | 5,583,000 |
| その他の活動による収入 | 3,755,640 |
| 繰越金 | 56,590,818 |
| 合計 | 355,100,283 |
| 法人運営事業 | 74,607,464 |
| 地域福祉活動推進事業 | 1,808,298 |
| 給食サービス事業 | 3,176,823 |
| 善意銀行事業 | 753,925 |
| 善意銀行事業(北浦地区) | 920,405 |
| 共同募金配分金事業 | 3,266,699 |
| 居宅介護支援事業 | 24,433,904 |
| 居宅介護等事業 | 57,758,264 |
| 障害福祉サービス居宅介護事業 | 8,418,340 |
| 就労継続支援B型事業 | 16,965,935 |
| 受託事業 | 45,347,252 |
| 指定管理運営事業 | 4,705,750 |
| 施設整備等による支出 | 825,151 |
| 拠点区分間繰入金支出 | 18,671,742 |
| サービス区分間繰入金支出 | 5,583,000 |
| その他の活動による支出 | 8,423,292 |
| 合計 | 275,666,244 |

いきいきいき長寿者紹介

大輪久子さん 95歳 (行方市五町田)



梅雨明け前だというのに、ひと足先に真夏が来てしまったようなとても暑い日に取材に伺いました。大輪さんはいつもくつろいでいらっしゃるといふ椅子に座って待っていてくださいました。

大輪さんは行方市の行戸に7人兄弟の次女としてお生まれになりました。幼少期は鬼ごっこや川遊びなどをして過ごすとても活発な子どもだったそうです。そして、終戦後にご結婚をされて今の地の生活が始まったそうです。



大輪久子さん

朝起きて新聞を読むのが日課になっているという大輪さん。お話を伺っていてとても驚いたことがあります。それは新聞を読むのに眼鏡が必要ないということ。大輪さんいわく「新聞は端から端まで目を通して見るよ。いろんなことが書いてあって勉強になるしね。」とのこと。また、最近気になることについてもお伺いしました。「世界にはまだまだ戦争をしている国があるよね。なんでそんなことをするのかと思うよ。悲しむ人が大勢いるのにな。」と切なくも力強い眼差しで話されていたのは深く心に残りました。常にいきいきと質問に答えてくださる大輪さん。「元気でいらっしゃる秘訣についてお伺いしました。「毎日体操をしているのが良いのかな。屈伸運動や指の体操、それに肩の柔軟をしたりしているよ。」椅子からの立ち上がりの様

子が若々しく、とてもそのお年に見えなかったのですが、そのお話を聞いて納得しました。

大輪さんは好奇心旺盛でもあります。興味を持ったことはまずやってみるそうです。プランターで花を育てたり、紙細工を作っていたりしたこともあるそうです。「もともと手先を動かすことが好きだね。手芸をしていた時期もあったんだけど、今はアクリルたわしを編むのに夢中なんだよ。1枚編むのに30分くらいかかるけど楽しいね。あつという間に時間が過ぎちゃうよ。」と教えてくださいました。

また、地域の行事も大輪さんの楽しみのひとつです。「地域の方たちの元気な様子を見て、私も力をもらっているよ。季節ごとに行事があって、移り変わりを感ずることができる。素晴らしいことだよね。」とおっしゃっていました。

取材には姪っ子さんとお嫁さんが同席してくださり、大輪さんの穏やかな性格と相まって、和やかなものになりました。「自分のことは自分で」とおっしゃっていた大輪さん。と同時に周りの方たちへの気配りや感謝を忘れない。とても素敵な方だなという印象でした。

これからもお体に留意され、ますますのご活躍をご期待申し上げます。



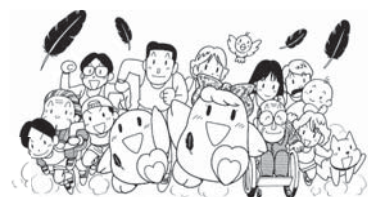
紙細工



アクリルたわし

誌面でご紹介させていただける長寿者の方を募集しています。自薦、他薦は問いません。ご連絡をお待ちしています。 ☎0299 (36) 2020 総務企画係

赤い羽根共同募金



～ひとり、ひとりのやさしさが
あなたの住むまちを、もっと、やさしくしてくれます～

共同募金の仕組みについて

共同募金は10月から12月にかけて3か月間行われ、お預かりした募金は翌年度の地域福祉事業として配分されます。

また運動の一環として行われる歳末たすけあい募金は12月1日から12月31日にかけて行われ、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが安心して暮らせるよう、歳末支援事業に使われます。

共同募金は、事前に使いみちや集める額（目標）を定め、地域の福祉のための募金と配分に関する計画をたてる募金です。あらかじめ“使いみちの計画”をたてることが義務づけられています。この計画に必要な総額が、「県内で今年は最低これだけの資金が必要」ということであり、これが「目標額」となります。

募金活動の種類

共同募金運動は、全国で年間200万人といわれるボランティアの皆さんに支えられており、様々な募金活動の種類があります。

- 戸別募金：各家庭に募金を呼びかける
- 街頭募金：街角や人の集まる場所で募金活動を呼びかける
- 法人募金：企業に募金を依頼する
- 職域募金：企業の従業員の方に職場での募金を依頼する
- 学校募金：学校において児童・生徒に募金を呼びかける
- イベント募金：イベントを通じて募金を呼びかける



行方市内のつかいみち

行方市においては、手話講座、視覚障害者用録音物配布、ひとり親家庭ふれあい事業、福祉体験事業、障害児（者）福祉活動等に使われています。（次ページのビックリ・発見・夏キャンプ、のびのびサポート事業も共同募金配分金によって実施しています）



歳末助け合い運動



視覚障害者用録音物配布事業

今年度も10月1日から赤い羽根共同募金運動を実施予定です。行方市の地域福祉推進のために皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



茨城県共同募金会行方市支会（行方市社会福祉協議会内）

住所 行方市玉造甲403番地
電話 0299(36)2020
FAX 0299(55)4545

第12回ビックリ・発見・夏キャンプを開催 ～夏の思い出のページのひとつに…～

毎年恒例のビックリ・発見・夏キャンプが、8月6日（水）から7日（木）にかけて白浜少年自然の家において開催されました。この事業は、障害のある方を対象とし、自立・交流・体験の機会拡大を通じて社会性や協調性を育むことを目的としています。

当日は、178名の方にご参加いただき、真夏の日差しの下、レクリエーションや交流会を中心としたプログラムを行いました。

また、開催にあたっては土浦市所在のオール医療福祉専門学校の学生の皆さんにご協力をいただきました。



創作活動や花火をして楽しく過ごしました

みんな元気に

のびのびサポート事業

夏休み期間中、玉造保健センターにおいて、ボランティア及び学生のみなさんの協力を得て、延べ10日間ののびのびサポート事業を開催しました。この事業はレスパイト（日常的なケアの負担軽減）を目的に実施しており、今年度で6年目を迎えました。今回も多くの方々（延べ73名）にご参加をいただきました。



音楽に合わせてリズムをとります（ミュージック・ケア）

インタビューコーナー

福祉な声

～運転ボランティアのみなさん～

地域社会にとってボランティアのみなさんはなくてはならない存在です。現在、さまざまな分野で老若男女のボランティアの方々が活躍されています。ここではそんな地域福祉の推進の一翼を担うボランティアさんの生の声を紹介したいと思います。今回は※「運転ボランティア」のみなさんです。

社協の広報誌を見て参加しました。

社協からの誘いです。

Q1：運転ボランティアを始めたきっかけを教えてください

友達の紹介です。

人の役に立ちたいと思ったのと、地域に恩返しをしたいという思いからです。それに自身の健康のためにもなると思いました。

7年間です。

4年4ヶ月です。

Q2：活動歴はどれくらいですか

5年目になりました。

10年くらいです。

4年くらいです。

自分にあっていると思います。楽しいです。

感謝されることが多いので私自身が感動しています。

Q3：運転ボランティアをしてみたの感想はどうですか

何もせずに家にいるのは嫌な性分なので良いと思います。ただ、終了時間の目途が見つからないときは大変です。

勉強になることが多々あります。また、利用者の方が喜んでくださることに私自信も喜びを感じます。

たくさんの方と交流できることです。

自分が健康になること。それに人のためになることです。

Q4：運転ボランティアのやりがいは何ですか

利用者の方から喜んでもらえることです。



Q5：他にしてみたいボランティアはありますか

子どもたちに昔遊びや遊具作りを教えてください。

傾聴ボランティアに興味があります。

給食サービスや育児支援をしてみたいです。

Q6：これからボランティアをしてみたいと思っている方に一言お願いします

ボランティアは健康で元気になる力があります。ぜひ！

愛情をもって行動することだと思います。そうすれば必ず大きな喜びが帰ってきます。

出来るときに出来ることを無理のないように参加してください。

実際にボランティアをされているみなさんの「声」を聞いてみなさんはどういう感想をお持ちになったでしょうか。「私もしてみたい」「してみたいけど時間がとれない」「ボランティアに少し興味が湧いた」など様々なご感想があると思います。もし最後までこのページを読んでもいただけたならば、あなたはすでにボランティアに興味を持ち始めているはずですよ。行動に移してみませんか。

※運転ボランティアとは

要介護認定を受けた高齢者や障害者の通院のサポートをするボランティア。運転や介護等に関する一定期間の研修を受けている。



今日も待っている人がいます

社協のせーびす⑥

こころのサロン事業

こころの健康に不安はありませんか？社協では社会参加と交流を目的としてこころのサロン事業を実施しています。



A さん：最近なぜか外に出るのがおっくうで。気分もすぐれません。体に痛いところがあるわけではないのですが・・・。

社協太郎：そうですね。社協ではこころのサロンという事業を実施しています。参加してみてもいいですか。



A さん：それはどういったものでしょうか？

社協太郎：同じような悩みを抱えた方たちと一緒にレクリエーションや外出などを行います。また、普段悩んでいるようなことを話していただいても結構です。きっと受け入れていただけると思います。



A さん：そうですね。

社協太郎：雰囲気合わないと思えば気兼ねなくおっしゃってください。お気軽に参加していただければと思います。



A さん：分かりました。考えてみます。

社協太郎：ひとりで悩まずにご連絡ください。



シルバーリハビリ体操普及講習会

開催のお知らせ

高齢化社会の進展の中で、「介護予防」が重要な課題となっております。なぜ今「介護予防」が大切なのか……。知って納得！ やって満足！ お手軽にいつでもどこでも1人でできる体操です。「寝たきり防止」を目指しましょう。



講師：茨城県立健康プラザ 管理者 大田 仁史 先生
 内容：介護予防体操（講義、実技）
 日時：平成26年10月1日（水）13:30～15:30
 場所：行方市麻生公民館
 主催：茨城県・茨城県老人クラブ連合会・行方市老人クラブ連合会
 お問い合わせ：行方市老人クラブ連合会事務局（行方市社会福祉協議会内）
 ☎0299（36）2020

介護予防教室参加者募集のお知らせ

～いきいきとした毎日のために、みなさんも参加してみませんか～

ふれあい広場 簡単なゲームや体操を行っています。

| | | | | |
|------|----------|-------------|-------|-------|
| 太田地区 | 太田地区館 | 14:00～15:15 | 10/9 | 12/4 |
| 小高地区 | 小高地区館 | 14:00～15:15 | 10/15 | 12/10 |
| 大和地区 | 小牧集落センター | 14:00～15:15 | 10/17 | 12/12 |
| 行方地区 | 西浦学習センター | 14:00～15:15 | 10/22 | 12/17 |
| 麻生地区 | 麻生公民館 | 14:00～15:15 | 10/23 | 12/19 |



※11月は研修を実施します。
 ※1月はお休みです

いきいきゼミナール シルバーリハビリ体操やゲームを行っています。

| | | | | |
|-------------------|-------------|---------|----------|----------|
| 内宿ふるさとコミュニティーセンター | 9:30～11:30 | 10/8,22 | 11/12,26 | 12/10,24 |
| 繁昌学習センター | 13:30～15:00 | 10/3,17 | 11/7,21 | 12/5,19 |

元気で～さ～びす館 シルバーリハビリ体操や文化活動を行っています。

| | | | | |
|----------|-------------|----------|----------|---------|
| 手賀学習センター | 10:00～15:00 | 10/14,28 | 11/11,25 | 12/2,16 |
|----------|-------------|----------|----------|---------|

特に募集しています！元気で～さ～びす館参加者

元気で～さ～びす館では、高齢者の引きこもり予防や健康づくり、仲間づくりをとおして、交流を図っております。ぜひ、ご参加を！参加ご希望の方は下記まで、ご連絡下さい。

1. 対象者 玉造地区在住の60歳以上の方で、話し相手の欲しい方、健康づくりや文化活動を楽しみたい方
2. 場所 手賀学習センター
3. 内容 (1) シルバーリハビリ体操 (2) 文化活動（工作・絵手紙など） など
4. 実施日 毎月2回（午前10時～午後3時）
5. 参加費 700円（食事・おやつ代込み）



※お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ 地域福祉係 ☎0299（36）2020

皆様からの寄付金・預託金 (順不同・敬称略)



麻生創生会



麻生小学校児童会

寄附金

| 預託者名 | 金額(円) | 指定先 |
|-----------------|--------|-----|
| 六 笠 勝 彦 | 20,000 | 北浦 |
| 大 場 健 二 | 20,000 | 北浦 |
| 荒 張 高 一 | 20,000 | 無指定 |
| 文化協会北浦歌謡部 | 15,583 | 無指定 |
| 伊 藤 正 孝 | 20,000 | 北浦 |
| 山 野 崇 | 30,000 | 北浦 |
| 飯 尾 清 美 | 20,000 | 無指定 |
| 関 幸 夫 | 10,000 | 北浦 |
| 大 和 田 昭 吉 | 20,000 | 無指定 |
| 麻 生 創 生 会 | 50,000 | 無指定 |
| 鴨 下 聡 | 10,000 | 北浦 |
| 一 二 三 会 長 阿 部 剛 | 49,405 | 無指定 |
| 原 と み 子 | 20,000 | 北浦 |
| 鈴 木 勝 也 | 20,000 | 北浦 |
| 小 沼 行 夫 | 20,000 | 北浦 |
| 方 波 見 誠 | 20,000 | 北浦 |
| 麻生小学校児童会 | 5,000 | 無指定 |
| 塙 吉 雄 | 20,000 | 北浦 |
| 河 野 昭 一 | 20,000 | 無指定 |
| 宇 佐 見 正 巳 | 20,000 | 北浦 |
| 玉 造 幼 稚 園 | 11,013 | 無指定 |
| 方 波 見 重 徳 | 20,000 | 北浦 |
| 東 山 恒 治 | 10,000 | 北浦 |

広報委員

| | |
|------------|----------|
| 委員長 大軒 光江 | 委員 高橋さち子 |
| 副委員長 代々城千尋 | 山崎 實 |
| 委員 大久保 守 | 横田 照実 |
| 菅谷 京子 | 石橋 展子 |
| 磯山 正子 | 野原 芳次 |

行方市善意銀行

平成26年5月1日から平成26年7月31日までに善意をおよせいただいた方々をご紹介いたします。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

ご指定いただいた寄付につきましては、指定の事業に使わせていただきます。皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

物品寄付

| 預託者名 | 預託品 | 指定先 |
|---------|-------|--------------------|
| 菅 澤 ト ヨ | 梅干し・酒 | 北浦地区 給食 サービス |



文化協会北浦歌謡部



一三二会

編集後記

今年も各地で観測記録を塗り替える厳しい暑さが続いています。老人ばかりでなく若者までが熱中症でたおれるという現象があちらこちらでおき、対策におわれている夏です。

時が過ぎて賑やかに鳴くセミの声も衰えはじめると、秋の気配をまとった風に、夏の暑さがふっと和らぎます。実りの秋はすぐそこまでやってきました。

今回号から「インタビューコーナー」を設けました。市民の皆さまに登場していただき、「皆さまの声を掲載しよう」というコーナーです。この行方市に住んで感じていること、活動して楽しいことや困ったことなど、又社協を利用した感想や期待すること、福祉に関する要望などをいろんなジャンルにわけてインタビューをしていきます。皆様の声を福祉政策に反映させ、「いつでも どこでも 誰もが 安心して暮らせる福祉コミュニティづくり」を目指していきたいと思っております。

支え合う地域は、皆さまの一人ひとりの助け合いの思いが行動に移った時築かれます。秋の実りのように豊かな地域はあなたの一歩踏み出す勇気から始まります。

広報委員 菅谷記